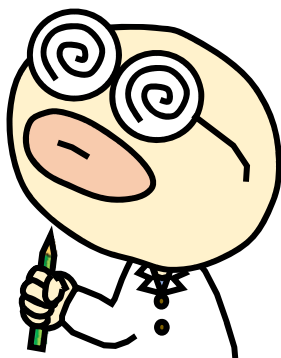


REHSE勉強会 REHSeminar

セミナー

2016年
REHSEmi
第2回!

大学等研究機関や企業が抱える様々な課題について、集中セミナー形式の勉強会を開催します。本勉強会は、テーマに沿った頭出しとなる講演や話題提供を行った後、皆でフリーディスカッションを行います。



第2回

合理的な実験室計画 の考え方

2016年7月28日(木)

13:30~16:30

大阪大学吹田キャンパス
産業科学研究所 管理棟 1F講堂

第1回 (平成28年4月28日(木) in 東京)

「実験研究におけるリスクアセスメントとは」
(keyword: 法対応、実験リスク、教育)

第2回 (平成28年7月28日(木) in 大阪)

「合理的な実験室計画の考え方」
(keyword: 多様性、非正常性、フレキシビリティ、共有)

第3回 (平成28年10月24日(月) in 東京)

「情報・コンテンツの共有と活用」
(keyword: 教育手法、事故事例、安全管理体制、外国人)

第4回 (平成29年1月26日(木) in 名古屋)

「創造性と自主的リスク管理のバランス」
(keyword: 保護具、相互巡視、OJT)

集中セミナー形式の勉強会をシリーズで開催!

第2回テーマ

「合理的な実験室計画の考え方」

実験の安全において、実験が行われる場となる実験室のあり方が深く関わることは言うまでもない。一方で、実験作業の目的や内容によらない万能な実験室を画一的に追求することも現実的ではない。大学の実験研究では、頻繁な実験目的や実験内容の変更、人数の変動や人の入れ替わり、限られた予算など、さまざまな制約条件がある。また、安全確保のために道具や設備の扱いの中で「やってはいけないこと」や「やってほしくないこと」が多数ある中で、それらの要求が個別かつ独立であるために、結果として実験室ユーザーにとって非合理的な行動を求めている現状も多く見受けられる。

この勉強会では、大学の実験研究ならではの様々な制約条件を前提としつつ、ユーザーの実験が安全かつ快適に行われるための合理的な場のあり方について議論する。

講師・コーディネーター：大島義人（東京大学教授）、山本仁（大阪大学教授）

参加申し込み

- 本セミナー終了後、16時半より、産業科学研究所内の研究室において耐震フレームシステム等の施設見学を予定しています。※見学場所の広さの関係上、希望者多数の場合、複数班に分けての見学になる場合があります。
- 参加申込方法：ご所属、お名前、施設見学のご希望の有無を、事務局メールアドレスまで送付ください。第1回時に全4回の出席を申し込みされた方は、セミナーの申し込みは不要ですが、施設見学をご希望の方はその旨をご連絡ください。
- 参加費：資料代として3,000円（会員）、5,000円（非会員）
※当日、会場にてお支払いください。
- 応募者多数の場合、先着順で締め切らせて頂く場合があります。



NPO法人 研究実験施設・環境安全教育研究会
Research for Environment, Health and Safety Education

問い合わせ先 REHSE 事務局

E-Mail : jimukyoku@rehse2007.com
TEL : 080-4383-2007
〒277-8563 千葉県柏市柏の葉5-1-5
環境棟468号室 東京大学 大島教授室内